

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1491000459	事業の開始年月日	平成25年12月1日	
		指定年月日	平成25年12月1日	
法人名	有限会社フルライフ			
事業所名	小規模多機能ホームラベンダー			
所在地	(〒244-0816) 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町2011-1 ウェストバレー一番館			
サービス種別 定員等	<input checked="" type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	25名	
		通い定員	13名	
		宿泊定員	7名	
		定員計	名	
		ユニット数	ユニット	
自己評価作成日	平成26年11月6日	評価結果 市町村受理日	平成27年1月5日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> 個人個人の利用者への対応を、一人ひとり臨機応変に行っている。 四季折々の行事で、利用者またその家族の方とも季節感を味わい、体感していただいている。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成26年11月21日	評価機関 評価決定日	平成26年12月23日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】

◇理念に「地域の皆様と共に元気で楽しいホームを作ります」を掲げ、職員は利用者の話をゆっくり聴くよう心がけ、思いを把握して支援に当たっている。居室でリビングの賑やかな声を聞きたいとの利用者の希望を入れて、パーティションを開けたままにしたり、利用者と年齢の近い職員が休み時間に、居室で寛ぐ利用者とコーヒーを飲みながら友達のように歓談するなど、利用者の思いを入れて自由に生活を楽しんでいる。

◇利用者が住慣れた地域で継続して元気で楽しく生活ができるように、通い、泊まり、訪問を利用者のニーズに合わせて対応している。自立度の高い方には通いの日と訪問の日を交互にしたり、長期に泊まる方が早く自宅での生活に戻れるように支援している。

【事業所が工夫している点】

◇職員は利用者へ、優しい声掛けや温かみのある態度で接し笑顔を絶やさず賑やかに過ごしている。このような利用者への対応が近隣に伝わり、利用者の友人が入居する例もある。

◇日常的な外出の他、利用者の希望に応じてバラ園やフラワーセンターなどに出かけ、また、独居者には食事や買い物に付き添っている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	小規模多機能ホームラベンダー
ユニット名	ー

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入口に「理念」を掲げ、日々意識して介護に臨むようにしている	<ul style="list-style-type: none"> ・開所時に職員と話合って作成した理念を、玄関とリビングの目に留まる個所に掲示している。 ・理念を日々のミーティングや会議で話合い共有して、その実践に努めている。 	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの自治会（マンション）の方との交流を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の方や運営推進会議、また職員から情報を得て地域の行事に参加している。 ・利用者は、地域のボランティアによるマジックや大正琴を楽しんでいる。 ・小学校の道徳の授業の一環として、生徒を受け入れている。 	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	あまりできていない		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月（1回/2ヶ月）開催し、事業所の入居状態、運営状況の報告、意見交換を行い、内容は議事録に残しサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は2か月ごとに、利用者、家族代表、地区連合会会長、民生委員、地域プラザ職員が参加して開催している。 ・町内会への加入の件や訪問医の受入れなどについて話合い、対応可能な内容から運営に活かしている。 	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所の高齢障害支援課や、保護課の方、または地域包括の方からの紹介者の件で、密に連携をとるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> ・市や区の窓口には、運営推進会議の議事録の他、各報告書類をファクスで送っている。 ・保護課のケースワーカーと連携しており、また、市や区の情報を得て、必要な研修に職員が参加している。 	区や地域包括支援センターの窓口には、可能な限り運営推進会議の議事録等を持参する機会を利用して、協力関係を築くことが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	やむを得ない場合に備え「身体拘束に関する説明書・同意書」を用意しているが、拘束にまで至った事例はない 夜勤帯時、足元センサーを事務所の横ドアの前に敷いて見守り行っている	・ミーティングで、拘束防止マニュアルに沿って研修を行い、拘束をしないケアを徹底している。 ・やむを得ない場合には「身体拘束に関する説明書」に沿って家族の承認を得ている。 ・玄関は夜間を除き、日中は鍵を掛けていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者不穏時、感情失禁時には傾聴したり、スタッフ連携とり利用者とのコミュニケーションとっている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者対応で、一緒に学んでいる		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、見積書を提示し重要事項説明を行い、同意いただいたうえで契約している また随時サービス担当者会議、カンファレンスなど行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に、利用者およびご家族に参加してもらっているが、行事や事例報告などに議題が偏りがちで、要望を吸収し反映できているとは言い難い 随時サービス担当者会議、カンファレンスなど行っている	・家族の意見や要望は、連絡帳や送迎時に、また、ケアマネジャーが毎月の訪問時に聴いている。 ・提出された意見や要望は、その都度担当者会議やカンファレンスで検討して運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダーミーティング、全体ミーティングを通して話し合った内容を業務上活かしている	・毎月のリーダー会議と全職員参加のスタッフミーティングで話し合い、意見や提案を運営に活かしている。また、管理者は職員面談の機会に意見や提案を聞いている。 ・各シフトの人数調整の方法についての提案を採入した事例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の状況に応じ働けるように努めている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	先輩スタッフより新人に、介助方法などを一緒に行い指導している また初めての仕事もサポートから入り、できることを増やしていくようにしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループ内他施設との交流はあるが、同業他事業所との交流は少ない		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	毎日利用者の気づいたこと、変化等を日誌に記入している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	訪問また電話連絡を通して連携をとっている ご家族来所時、できるだけ多くの話をするよう心掛けている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメント、基本情報など聞き取りを行っているが、満足いくまでではない		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者のお話に傾聴し、不安を除く努力をしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の不安を除く努力しているが、情報などは家族に伝えている 家族の要望や意向をヒアリングし、できる限り実現できるようなプランを作成を心がけている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買い物同行は、本人の通っていたスーパー、コンビニに行っている	・知人や家族の来訪時には、居室やリビングで歓談してもらい、関係の継続を支援している。 ・利用者が馴染みの近くのスーパーやコンビニでの買い物に付き添ったり、馴染みの床屋にも職員が送り迎えをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションを通じたり、お話 に傾聴したりコミュニケーションを とるよう、孤立しない様支援してい る		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの 関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家 族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	完璧ではないが、家族との関係継続 を心掛けている		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている。	本人の意向に傾聴し、実現するべく 努力している	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は利用者の側で傾聴に努め、 思いや意向を把握している。 ・意向の把握が困難な方には、本人 の様子や仕草から思いを汲取ってい る。 ・把握した内容は、全体ミーティン グで話合って共有して、サービスに 活かしている。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努 めている	ご本人、ご家族より十分な話を聞い て把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	集団生活なので全てというわけには いかないが、個人個人に叶えられる ことは実践している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族、スタッフ間で話し合い見直している	・アセスメントをもとに、数週間利用者の様子を観察し、職員・家族の意向を入れて介護計画を作成している。 ・利用者のモニタリング結果を、毎月のミーティングで検討し、3か月ごとに計画を更新している。利用者の状態により随時見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は毎日記入しており、全てを活かしているわけではないが、計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状態の悪化により「通い」「訪問」「泊り」柔軟に対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物同行、外出レク等、利用者の要求に合わせた暮らしを支援していくよう努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今までのかかりつけ医を継続受診し、また月2回の訪問医を受診できるよう、本人、家族、病院と連携を図っている	・利用者のかかりつけ医での受診を支援している。独居の方やご家族が就労の方には、職員が通院を介助している。 ・事業所の訪問医で受診する場合は、従来のかかりつけ医からの引継ぎに留意している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	少しの変化でも連携図り、適切に支援できるようにしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院時、病院より看護サマリーやリハビリサマリーで情報をいただき、訪問看護や訪問リハ、または自主訓練メニューなどの資料を参考に行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族、本人、スタッフ間、看護師、医療と連携をとり、できる限り介護を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時に重度化対応について説明し、同意書を取り交わしている。 ・利用者が重度化した場合は、看護師が協力医と話し合い、家族の意向に添って対応している。 ・看護師が全体ミーティングで職員に看取りの研修を行なっている。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応、夜間でも連絡可能一覧表で連絡し対応図る またフローチャートを明示し、実践している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火管理者研修を消防署で行い、日中、夜間対応した防災訓練を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を年2回、消防署の指導のもと、10月には夜間想定で、3月には日中の訓練を、利用者の参加を得て実施している。 ・災害に備えて、食糧、水、防災ズキン、ヘルメットを用意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練に地域の方にも参加してもらえるよう、運営推進会議の議題の一つとして話し合われることが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に元気で明るく、笑顔で対応するよう努めている	・職員は年に数回のスタッフミーティングで、接遇や個人情報保護の研修を行い、利用者の人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。 ・利用者へは苗字で呼びかけ、丁寧な言葉で対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	極力自己決定に基づいて支援できるよう努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく個人個人の要望に沿って過ごせるよう工夫していきたい		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髭剃り、理美容など利用者が受けられるように家族と連携とっている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自発的に手伝ってくれる利用者もいる 月2～3回手作りメニュー行い、楽しまれている	・昼夕食のおかずは宅配食業者に依頼して、ご飯、味噌汁は職員が作っている。一部の利用者は盛り付けや配膳など手伝っている。 ・月2～3回は、利用者の要望を入れた手作りの料理を楽しんでいる。利用者の状況に応じて、刻み食やおかゆを で 提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量を記録し水分不足時には1日目安水分量摂取いただいている 体重を1回/月記録している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員の声掛けで行い、義歯などは洗浄剤などで対応している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	転倒しないよう行い個人個人の排泄パターンを把握し、個々の排泄時間に応じ誘導、日中、夜間、自己尿意・便意の決定により、トイレにて行っている	・利用者ごとに排泄パターンを把握し、さりげなくトイレに誘導して、排泄の自立を支援している。 ・また、食事や外出の前に排泄を促しているが、強制はしていない。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	2～3日以上、利用者または本人の訴え時、医師、看護師と連携とり服薬処方していただきコントロールしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個々に応じ週2～3回入浴を行うスケジュールを組んでいるが、ご本人の希望を最優先し行っている また、軟便や便失禁時には都度皮膚洗浄のため、シャワー浴などで対応している	・入浴は原則週3回であるが、利用者の希望に応じて対応している。 一般浴槽の他にリフト浴を備え、身体能力に応じて支援している。 ・湯水は午前と午後で入れ替え、利用者の好みの湯加減で対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の利用者に個室またはパーテーションで遮蔽し、臥床していただいている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からの薬の説明書がある場合、個人ファイルにファイルし周知確認できるようにしている 看護師により与薬表で予定と服薬確認（確認者名記入）をチェックし、厳しく管理されている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	カラオケやビデオ鑑賞で以前の趣味など探り、本人の好みに合わせてレク等対応		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買物レク、近くの公園散歩、また休みながら200~300mぐらい散歩など行う	・天気の良い日は、近隣を散歩している。また、季節に応じて桜、石楠花、紫陽の花見物などに出かけている。 ・利用者の希望に応じ、買い物に付き添い、ドライブの好きな利用者の要望にも対応している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の希望で購入物がある場合、家族より事前にお金を預かり、事務所にて管理し、都度希望に応じてスタッフが買い物してきたり、店に同行したりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けることや、携帯電話所持可能なため必要以上に電話をかけて家族より苦情もあった		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を活けたり、折り紙により季節感を味わえるよう工夫している 外のプランターの花も楽しんでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・居間の温湿度は、利用者のそぶりや職員の体感で適宜調整している。 ・居室の入り口には、利用者と職員が共同で栽培したポインセチアなどの季節の花を飾り、居心地よく過ごせるように配慮している。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの座る場所により利用者同士の居心地を考慮している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の毎日の掃除、持ち込み品の整理整頓をおこなっている またラジオ等の持ち込み希望を聞いている	<ul style="list-style-type: none"> ・居室にはベッド、エアコン、カーテンなどを備えている。 ・長期の利用者は座椅子、カセットテープなど馴染みのものを持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫している。 ・使用していない居室は、通いの利用者の昼寝などに活用している。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には移動しやすいように手摺り、必要に応じて足元センサーを設置している		

目 標 達 成 計 画

事業所名 小規模多機能ラベンダー

作成日 平成26年12月24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	区や地域包括支援センターの窓口には、可能な限り運営推進会議の議事録等を持参する機会を利用して、協力関係を築くことが期待されます。	次回開催の運営推進会議の議事録から、区や地域包括支援センターの窓口に届けるようにする、	、区や地域包括支援センターの担当者と顔なじみになれるように、近くに行った際には立ち寄るようにする。	6か月
2	13	・防災訓練に地域の方にも参加してもらえるよう、運営推進会議の議題の一つとして話し合われることが期待されます。	平成27年3月実施予定の防災訓練に参加してもらえるように要請する。	平成27年2月度の運営推進会議の議題として提案する。	3か月
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。